

2019 スプリングレガッタは、日本レーザー・クラス協会が主催し、レーザー・津フリート、三重県ヨット連盟の運営により、2019年4月27日(土)~29日(月)の期間、三重県津市津ヨットハーバーに大会本部を置き、その沖海面にてレースが開催される。

帆走指示書(SI)

SIにおける[DP]の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により軽減することができることを意味する。

SIにおける[SP]の表記は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示される。標準ペナルティーを課せられた艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これはRRS63.1,A5およびA11を変更している。

1. 規則

1.1 本レガッタには、『2017-2020セーリング競技規則(以下RRSと略す)』に定義された規則が適用される。

1.2 RRS42に対する特別な処置として付則Pが適用される。

1.3 RRS付則Tが適用される。「レース後ペナルティー」を履行した艇の得点略語は「SCP」である。

1.4 RRS87に基き、レーザー・クラス・ルール7(a)を以下のように制限する: レース中は登録された1名のみ乗艇できる。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、津ヨットハーバー1階に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の各クラスの最初の予告信号の時刻の1時間前までに掲示する。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の19:00までに掲示される。

4. 陸上で発せられる信号

4.1 陸上で発せられる信号は、津ヨットハーバー1階のフラッグ・ポールに掲揚される。

4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

4.3 [DP]音響1声とともに掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗の掲揚後30分以降に発せられる」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れないよう求められる。

5. レース日程

5.1 レース日程およびレース数

4月27日(土)	13:00	16:30	大会受付
	13:30	17:00	計測
4月28日(日)	08:00	09:30	大会受付・計測
	10:00		開会式・ブリーフィング
	12:25		最初の予告信号
			3レースを予定
	18:00		講習会 / レセプション
4月29日(月)	08:30		ブリーフィング
	09:55		最初の予告信号
			4レースを予定
	16:30		閉会式

閉会式の予定時刻が変更される場合は、最終レース終了後掲示される。

5.2 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号

を発する最低 5 分以前に、音響 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

5.3 レースの予定された最終日には、14:00 より後に予告信号を発しない。

6. クラス旗

クラス旗は以下のとおりとする。

クラス	クラス旗
レーザー・ラジアル	緑色地に赤のレーザー・マーク
レーザー4.7	黄色地に赤のレーザー・マーク

7. レース・エリア

添付図 A0 にレース・エリアのおおよその位置を示す。

8. コース

8.1 添付 A1~4 の見取図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークのどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

8.2 各クラスの予告信号以前に、帆走するコースを示す数字旗をレース委員会の信号船に掲揚する。

旗	コース
数字旗 1	1
数字旗 2	2
数字旗 3	3
数字旗 4	4

8.3 予告信号以前に、レース委員会の信号船に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

8.4 4 レグ以上帆走したマークでフィニッシュすることによりコース短縮することがある。

9. マーク

9.1 コース 1、2 の場合、マーク 1、2 および 3 は、黄

色円筒形ブイである。

9.2 コース 3、4 の場合、マーク 1 および 4 は、黄色円筒形ブイである。

マーク 1A は、オレンジ色旗付円筒形(小)ブイである。

9.3 スタート・マークは、スターボードの端にあるレース委員会の信号船とポートの端にあるオレンジ色青縞模様円筒形(大)ブイである。

9.4 フィニッシュ・マークは、スターボードの

スタート信号後、レース・エリアはいずれかのフリートがレースを行っている間は、艇が通常帆走すると考えられる地点の外側 100m の範囲内と、コース 1、2、3 および 4 の場合、マーク 1、1A、2、3 および 4 を結んだ範囲とする。

11. コースの次のレグの変更

11.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

11.2 レグの長さの伸縮を示す"+"および"-の信号は示されない。これは RRS 33(b)を変更している。

12. フィニッシュ

12.1 フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるフィニッシュ・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端のフィニッシュ・マークのコース側との間とする。

13. タイム・リミットとターゲット・タイム

13.1 タイム・リミットとターゲット・タイムは、以下のとおりとする。

タイム・リミット	マーク 1 のタイム・リミット	フィニッシュ・ターゲット・タイム
90 分	30 分	45 分

マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合、レースは中止される。これは RRS32.1 を変更している。ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは、RRS62.1(a)を変更している。

13.2 RRS30.3 または 30.4 に違反していない最初

の艇が、RRS28.1 に従ってコースを帆走してフィニッシュ後 15 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった (DNF)』と記録される。これは、RRS35、A4、A5 を変更している。

14. 抗議と救済要求

14.1 抗議書は、レース・オフィスで入手できる。抗議および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出されなければならない。

14.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 90 分とする。

14.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告が掲示される。審問はプロテスト・ルームにて掲示された時刻に始められる。

14.4 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。

14.5 SI1.2 に基づき RRS42 違反に対するペナルティーを課された艇のリストは提示される。

14.6 SI 4.3、10.2、10.4、16、17、21、22 の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これは、RRS60.1(a)を変更している。

14.7 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 30 分以内に提出されなければならない。これは RRS62.2 を変更している。

15. 得点

15.1 本大会は 7 レースを予定し、2 レースを完了

- することで成立する。
- 15.2 4 レース未満しか完了しなかった場合、艇の大会得点は、レース得点の合計とする。4 レース以上完了した場合、艇の大会得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
16. 安全規定
- 16.1 [SP]艇は毎日、出艇前にレース・オフィスの所定の用紙にサインして出艇し、着艇後当日の抗議締切時刻以前にサインしなければならない。
- 16.2 [DP]レースからリタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。フィニッシュした後にリタイアする艇は、帰着後直ちに、抗議締切時刻以前に、レース・オフィスのリタイア報告書にサインをしなければならない。
- 16.3 [DP]衣服や個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、競技者は水上にいる間は常に膨張式ではない個人用浮揚用具を着用していなければならない。これはRRS40を変更している。
- 16.4 救助を求める必要がある場合には 手のひらを広げて 振り、その意志を表わすこと。救助の必要がない場合には"こぶしを握って"振ること。
- 16.5 必要とみなされた場合に、競技者は自艇を放棄してレスキュー・ボートに乗艇するよう運営艇に命じられることがある。この強制救助に対しては、艇からの救済要求の根拠とはならない。これはRRS62.1(a)を変更している。
- 16.6 [DP]直径 6mm、長さ 5m 以上のパウ・ラインをパウアイにつけておかななければならない。
- 16.7 マスト・トップに着脱可能な浮力体を取り付けてもよい。形状は球形に限り、1 か所のロー

プで取り付けなければならない。
ただし、コンディションにより、付けたり外したりしてもよい。

17. 乗員の交代と装備の交換
- 17.1 競技者の交代は、許可されない。
- 17.2 [DP]選手は大会において 1 つのハル、セール、マスト、ブーム、センターボード、ラダーを使用しなくてはならない。
- 17.3 [DP]艇または装備が損傷した場合、レース委員長の書面での許可を受けた場合にのみ交換することができる。その日の最初のレースのスタート前 90 分以降からその日の最後のレースのスタート前までに破損が発生した場合、テクニカル委員会に口頭で臨時許可を得た後、その日の抗議締切時刻以前に書面で許可申し込みを行わなければならない。
18. [DP] 艇、装備および衣類の検査
- 18.1 艇と装備の検査を艇置き場にて受けなければならない。
- 18.2 艇、装備および衣類は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

19. 運営艇
運営艇の標識は、以下のとおりとする。

運営艇	識別旗
レース委員会	白旗
プロテスト委員会	白地に JURY の黒文字の旗
救助艇	白地に RESUCUE の赤色文字の旗

20. [DP]支援者
- 20.1 チーム・リーダー、コーチその他の支援者は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラ

ルリコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。ただしレスキューなどの緊急の場合を除く。

20.2 支援者は、水上にいる場合、大会受付時に交付される「ピンク旗」を掲揚しなければならない。

20.3 レース委員会艇に「グリーン旗」が掲揚された場合は、レース・エリアに入った救助活動の協力要請がされたことを意味する。この場合、SI20.1 は適用されない。

21. [DP]ごみの処分

ごみは、支援者またはレース委員会の運営艇に渡してもよい。

22. [DP]無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

23. 賞

各クラス成績上位者には、賞が授与される。

24. 責任の否認

このレガッタの競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS4『レースすることの決定』参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

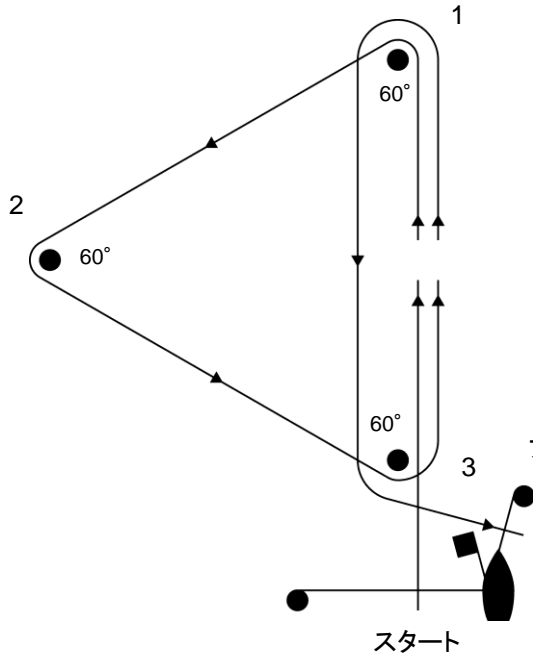
【添付図】

A0. レース・エリア



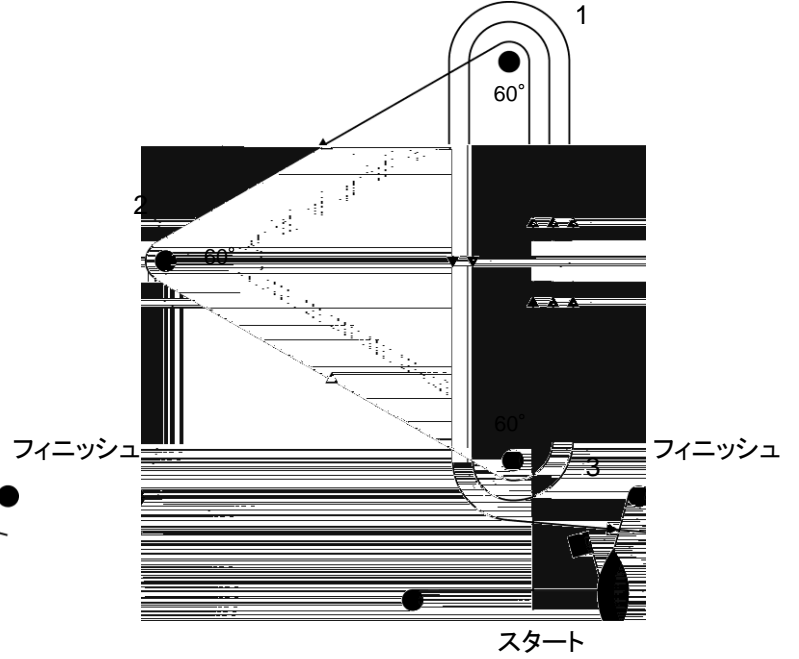
A1. コース 1

スタート-1-2-3-1-3-フィニッシュ



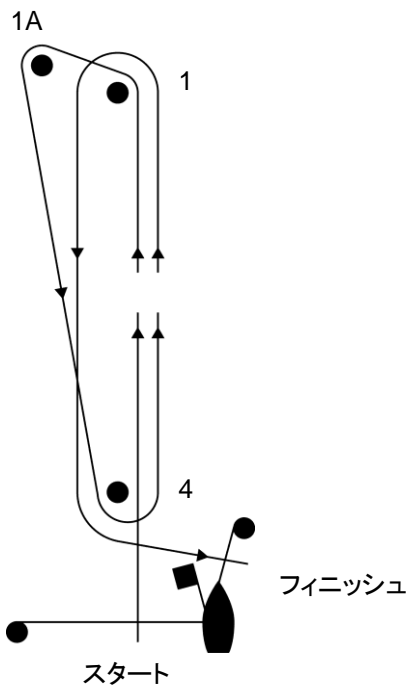
A2. コース 2

スタート-1-2-3-1-3-1-3-フィニッシュ



A3. コース 3

スタート-1-1A-4-1-4-フィニッシュ



A4. コース 4

スタート-1-1A-4-1-4-1-4-フィニッシュ

